

D-wing

ディー・ウイング
VOL. 6

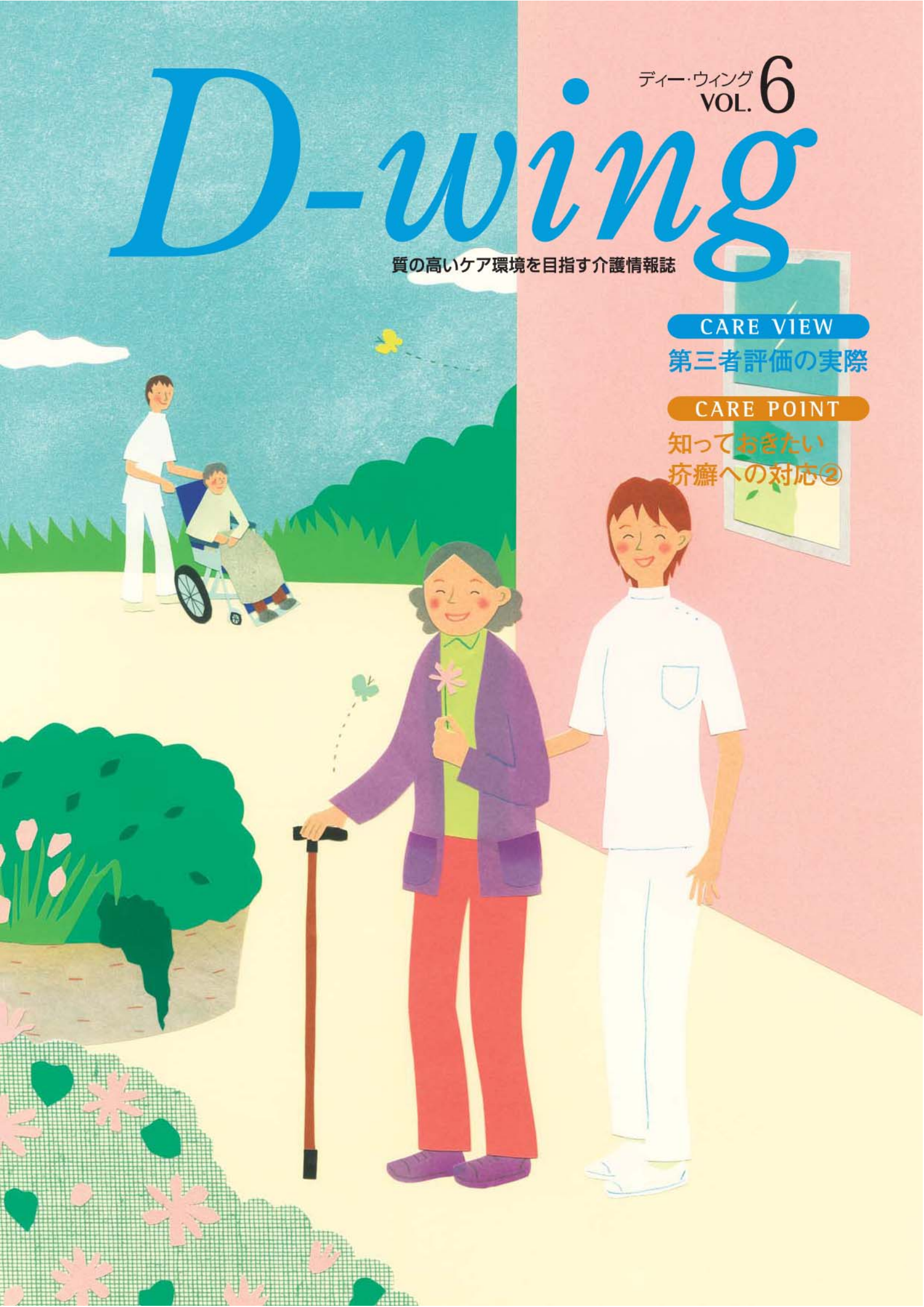
質の高いケア環境を目指す介護情報誌

CARE VIEW

第三者評価の実際

CARE POINT

知っておきたい
疥癬への対応②



第三者評価の実際

社会福祉法人長寿村 特別養護老人ホーム 足立翔裕園

二〇〇〇年に改正された社会福祉法のもと、第三者評価を積極的に導入する施設が増えはじめています。本号では、昨年7月に、福祉サービス第三者評価を受けた特別養護老人ホーム足立翔裕園の例をご紹介します。実際に陣頭指揮を執られた施設長の田代孝一さんに、評価の実際とその波及効果などについてお話を伺いました。

社会福祉法人長寿村
特別養護老人ホーム
「足立翔裕園」



施設長 田代孝一さん



左から施設長 田代孝一さん、
経営マネージャー 山下博江さん、
生活相談員 介護支援専門員
大塚早苗さん、職持孝子さん

社会福祉法人 長寿村 特別養護老人ホーム「足立翔裕園」
定員170名（特養160名、ショートステイ10名）
関連施設：特別養護老人ホーム「大田翔裕園」 老人保健施設「大田ナッシングホーム翔裕園」 通見老人ホーム（養護）

サービスに対する客観的評価を知る

第三者評価の実施に踏み切ったのは、高齢者短期入所事業（ショートステイ）のモデル事業を引き受けた際の報告書でした。利用者やそのご家族が当施設に対してどのような考えを持っているのかを初めて知り、特別養護老人ホームにおいても第三者評価の実施に踏み切ったのが直接のきっかけで、昨年7月のことでした。

第三者評価を受けるメリットは、施設における現状のサービス基準が、客観的に見てどの程度のものであるかを判断できる点にあります。特に長期入所施設の場合、利用者やそのご家族は、施設側に要望を出しにくい側面があります。スタッフも施設内の基準で物事を判断しがちとなり、第三者の目で鋭く問題を指摘してもらうことは有意義なことだと思います。

施設業務への理解も評価機関選定のポイント

実際に評価機関を選ぶ際には、費用面も重要なポイントですが、「施設の業務に対してどのくらい理解があるかどうか」が重要なポイントになると思います。私たちが選定した機関は忙しい食事の時間帯には訪問しない、長時間滞在して利用者にご不安感を与えないという聞き取り調査は短時間で終了することなどを事前に伝えてくれました。また、これまでその機関が実施した施設の報告書を提示してもらおうと良いでしょう。良質な評価機関であれば、受ける施設の立場に立つと、イラストや図表を多用したわかりやすい報告書作りを心がけているものです。

実際の評価の流れ

実施前に重要なことは、スタッフに第三者評価への理解の浸透を図ることです。私たちの施設でも、当初「評価＝調査である」「や「悪いところを見せてはいけない」

も楽しめるような催しを行うよう努力を続けています。このように第三者評価によって、介護サービスというのは利用者本位であるべきだという原点を見つめ直すきっかけも与えてくれたと思います。

今後の目標

今後は、「スタッフである私たちが居る、生活したい施設」をひとつの判断基準として、さらに質の高い利用者サービスを提供していきたいと思えます。評価の低かった事項については改善に努めているので、今年度も再評価を受け、

改善度を把握しておきたいと考えています。自らの施設と利用者へのサービス向上のために、第三者評価です。手続や調査に手間がかかるのは事実ですが、得られるものは大きいと思います。現段階では実施は任意ですが、多くの施設が積極的に受けられることをお勧めしたいと思います。

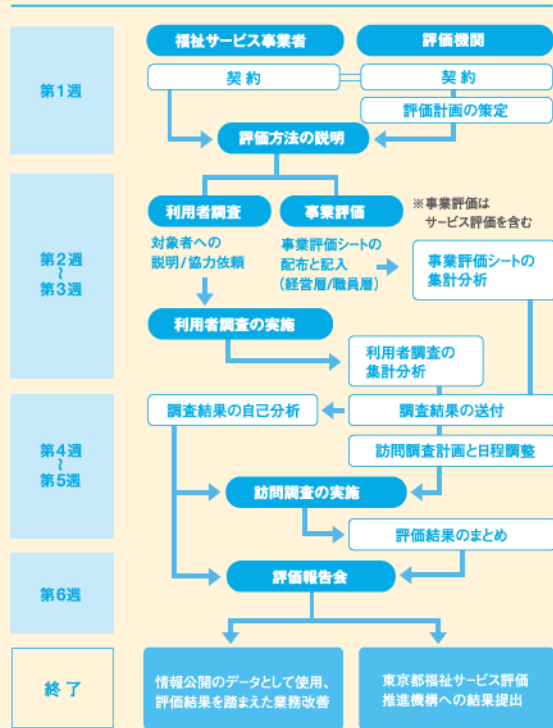
的確な評価内容

「この様にしたいほうが望ましいのではないか」という姿勢で評価してくれました。そのためスタッフとの活発な質疑応答ができ、有意義な報告会となりました。第三者である評価機関側と施設側が足並みをそろえて評価を進めることが肝心だと思います。

スタッフの中に芽生えたサービス案としての意識

介護サービスに意識面での変化も見受けられました。評価を受けた後は、介護を受けた利用者や訪問した家族に常に見られているという外部からの目を意識し、緊張感を持って介護サービスにあたることも大切だという気持ちも芽生えました。また、良い評価を受けた「家族主義」という基本理念に基づいて、より家庭に近い生活環境、サービスを提供することに努力しています。例えば外出については、野球が好きな利用者や試合の観戦に行ったり、車での外出が中心の生活にあつて、たまには電車に乗りたいたいという要望に応じて、車椅子の利用者を電車で熱海温泉旅行に行ったり、これらは年中行事のようになっていますが、個々の利用者のライフスタイルや要望を尊重し、利用者が心待ちにし、働くスタッフ

福祉サービス第三者評価の進め方



※以上日程は利用者調査の進行状況により変動しますのでご了承下さい。

岐阜地区Dケアセミナー

岐阜県・愛知県より
33施設68名の皆様にご参加いただきました。

2004年6月19日、岐阜市市民会館にて、Dケアセミナー岐阜を開催しました。梅雨の合間の暑さにもかかわらず、飛び入り参加もあは東京の特別養護老人ホームにおける「第三者評価」の事例発表。岐阜県ではこれから本格化する取り組みでもあり、いち早くチャレンジした他施設の事例には関心も高く、アンケートでも好評をいただきました。



アロマを使った
スキンケア。

第二部は本誌でコラムを執筆されている廣野正子先生によるスキンケアの講義です。



前半にスキンケアの基礎知識に関するお話をいただいた後は、実際に廣野先生が実践しているアロマオイルを活用したスキンケアの実践編です。参加された皆様自身のストレスや疲れにも効果的とあって、オイルの種類やここで買えるのか、など質問が飛び交っていました。

飲便対策への
アプローチ。

排泄ケアにおいて寄せられる悩みの1つに「便」に関するものがあります。便そのものを紙おむつで吸収することは難しいため、いかにして紙おむつから外へ漏らさずに中でキッチリするかがポイントになります。今回のセミナーでは、おむつの中で水様便がどのように流れるのかを実演でご頂戴し、ガーゼを使った対処法をご紹介しました。3時間間に及ぶセミナーでしたが、最後まで熱心にメモを取る皆さんの姿が印象的でした。



2004年度活動計画

本年度は首都圏で2回、それ以外で3回のセミナーを開催します。2004年度は、計5回のセミナーを開催し、Dケアシステムの全国展開を本格始動します。これまで以上に、幅広く情報を集めて皆様にお届けして参りますのでご期待ください。

	2004年度予定											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Dケアネット				略会								
Dケアセミナー(首都圏)									東京			神楽川
Dケアセミナー(首都圏以外)					福岡			仙台 松本				
テーマ別研究会	年3回開催											
会報誌					発行				発行			発行

新築・移転と同時に
導入決定

措置制度が支援費制度へ切り替わる平成十五年四月、開設二十周年を迎えた愛正園さんではちょうど新築・移転の時期とも重なり、ケア環境の全面的見直しの一環として、その半年前から紙おむつの検討を始められました。「措置制度の頃は、毎日大量に使われる布おむつと違和感すら感じていました。でもある日、何枚もお腹のまわりだけ異様に膨れ上がっている利用者さんの姿に「何かおかしいぞ。これが個人の尊重だろうか」と思ったんです」と語る松下施設長は、即座に排泄担当の蛭田様・佐藤様に紙おむつの検討を指示。弊社の「おむつ診断」を経て、移転と同時に全面的紙おむつ導入を決定されたのです。

おむつ診断の結果、
コストは半分

「おむつ診断時に受けた、あて方のアドバイスは驚くほど効果的で、現場の意識もあつという間に変わっていききました。今では、独自のアレンジも加わってひとりひとりの排泄介助を適時研究工夫しています」

こんにちは

今回は一年前の新築移転時に布おむつから紙おむつへ切り替え、現在では愛正会グループ全体でも紙おむつを見直すきっかけとなった、茨城県高萩市の身体障害者療養施設「愛正園」様にお邪魔しました。



施設概要
■施設名 社会福祉法人愛正会 身体障害者療養施設 愛正園
■住所 茨城県高萩市 下手綱1951-20
■利用定員 50名

左から、弊社 櫻橋、佐藤様、蛭田様、弊社 清水



「高くなるのではと不安だったストが、逆に半分近くまで削減できたのは予想外でした。施設長もびくびくと私たちに「計算違いじゃないの?」って(笑)「排泄担当のお二人は、おむつ診断がもたらした効果に大変満足しているように見えました。」

最後に「白十字との出会いから今日に至る過程は「初志」が実ったような感じ」と蛭田様からの言葉をいただき、大変感謝すると共に「雇の努力を心に誓う弊社担当でした。」

COLUMN

誰でもいつでもどこでも...
ちょっとしたセルフケアはいかがですか?
私たちのからだの3分の2は水分です。血液・リンパ液などが滞りなく流れることは免疫力をアップし、いろいろな効果を期待することができます。

アロマオイルを使った手軽なセルフケア

手足の末端の流れは、全身的な流れの目安になります。アロマオイルは心地よい香りでリラックスを促され、皮膚から浸透した精油成分により相乗効果が望めます。



アロマオイルの作り方 / 植物オイル10mlにお好みの精油を1〜2滴入れる。

- | | |
|--|--|
| <p>ホホバ油.....保湿性・浸透性にすぐれ、べたつかない
マカデミアナッツ油.....肌と同じ成分を含み、肌への刺激が少ない
オリーブスクワラン.....さらさらして肌になじみやすく、顔などデリケートな部分へも使える</p> | <p>老化肌.....安息香・乳香・サンダルウッド・ローズウッドなど
乾燥肌.....サンダルウッド・ラベンダー・ゼラニウムなど
脂性肌.....イランイラン・ラベンダー・ジュニパー・サイプレスなど
敏感肌.....ローマンカモミール・ジャスミン・ネロリなど
むくみ.....ジュニパー・ローズマリー・サイプレスなど
冷え性.....ラベンダー・ジュニパー・ゼラニウムなど</p> |
|--|--|

廣野正子先生
早稲田福祉専門学校 専任教員
日本アロマセラピー協会認定
インストラクター・アロマセラピスト
老人施設などに出向き浮腫などお困りの方を中心にケアを実践している。種やかに効果が現れるアロマが要介護者の体質にフィットすることを実感し、推奨している。



自立をサポートする
排泄ケア用品

パッドを固定し、モレ解消!!

「しっかりガードシステム」でモレ発生を**60%カット!**

腰部をやさしく包む
やわらかい不織布シート

ムレずに快適
全面通気素材

やわらか素材でつかみやすい
ウエストベルト

においを抑える
新抗菌ポリマー

迷わずはける 前後識別マーク&色付きゴム

(後)	(後)
前後識別マーク	色付きゴム



しっかりガードシステムがパッドを固定。
だからモレない!
「しっかり」と尿とりパッドを尿道口(肌)に密着させ、モレの発生を「ガード」します。

ダブルフィット構造
上層と下層、二つの吸収体の働きで、尿とりパッドを固定し常に尿道口に密着させモレを防ぎます。

フィットアップギャザー
歩いたり動いても、フィットアップギャザーの押し上げ効果で、尿とりパッドが尿道口からズレずに密着状態をキープします。



新商品



編集部より

首都圏地区で立ち上げた、会員組織「Dケアネット」も一周年を迎えました。首都圏以外でのセミナー開催も本格化し、全国各地から収集した幅広い情報をご提供できる体制が整いつつあります。今回の岐阜地区でのセミナーで、他府県に比べていち早く第三者評価への取り組みを強化している東京都での事例をご紹介したことは、その好例と言えます。アンケートを実施しても、やはり「他の施設・病院様ではどんな取り組みをされているのか」という関心が非常に高く、その声に応えられるよう、日夜情報を集めています。セミナーや研究会などを通じて発信して参りますので、お近くで開催する際にはぜひご参加ください。

お問い合わせ・お便りは
〒171-0033 東京都豊島区高田2-4-25
TEL.03-3987-6117
白十字株式会社「D-wing」編集部まで

Dケアセミナー 3地区で開催が決定しました!

Dcare Reportでもご紹介した通り、福岡県・宮城県・長野県でのDケアセミナー開催が決定しました。日時や内容など詳細については改めてご案内いたします。

福岡地区Dケアセミナー
2004年8月26日(木) アクロス福岡にて

仙台地区Dケアセミナー
2004年9月9日(木) 仙台市情報・産業プラザにて

松本地区Dケアセミナー
2004年9月末日 会場未定